NME News
Nutritional Management Expert News
栄養経営士のための情報紙
2019 10月号
●発　行／一般社団法人 日本栄養経営実践協会（JANMP）
〒101-0042
東京都千代田区神田東松下町17
ニッテン神田ビル3階
●制　作／株式会社日本医療企画
お問い合わせ先／一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局　TEL.03-5289-7021　FAX.03-5289-7022　http://nutrition-management.jp

「全国栄養経営士のつどい」第5回大会は名古屋! 栄養経営士が切り拓く食と栄養の明日

一般社団法人日本栄養経営実践協会（代表理事宮澤靖）は、第5回となる「全国栄養経営士のつどい」を2020年3月7（土）、名古屋市のiMyホールで開催する。大会テーマは「栄養経営士が切り拓く食と栄養の明日―栄養分野の大変革期に示すべき指針を探る」。栄養を取り巻く環境が大きく動く2020年に、栄養経営士が担う役割を考えていく。

栄養分野における節目の年に名古屋から新たな指針を示す

今年3月に開催された「第4回全国栄養経営士のつどい」大阪大会。地域医療・在宅医療の実践者による講演や栄養経営士による実践報告、多職種によるディスカッションなどのプログラムを行い、関西圏を中心に全国から約150名が参加した。終了後の懇親会では当協会理事と栄養経営士の交流も図られ、活気あふれる大会となった（カコミ記事参照）。

第5回となる全国大会は、昨年1月に設立した東海支部（支部長：東海学園大学健康栄養学部管理栄養学科准教授・兼平奈奈氏）が中心となり、名古屋大会として開催する。大会テーマは「栄養経営士が切り拓く食と栄養の明日―栄養分野の大変革期に示すべき指針を探る」と決まった。

2020年は4月の診療報酬改定だけでなく、全世界が注目する東京栄養サミット2020の開催も予定されている。「日本人の食事摂取基準」改訂の年でもあり、さらには新しくなった管理栄養士国家試験出題基準（ガイドライン）に基づく最初の国家試験が実施されるなど、栄養分野にとって大きな変革の年となる。

その節目の年に開催される大会において、栄養経営士が食と栄養の未来のビジョンを描き出し、その達成に向けた新たな指針をさまざまな角度から考察していく機会となることを期待している。

全国の栄養経営士が一堂に会する全国大会（写真は大阪大会）

現場からのリアルな実践報告が他では得られない大きな学びに

「全国栄養経営士のつどい」では大会のメインプログラムとして、全国で活躍する栄養経営士にその実践活動の成果を発表していただく「実践報告」を行っている。前回の大阪大会から発表者の枠を6名に拡大したが、今大会でも同様に栄養経営士による現場からの報告についてはしっかりと枠を設け、多くの方に登壇いただきたいと考えている。

栄養経営士による実践報告は、論文のために行う研究の発表ではなく、まさに日々の職務のなかで実践してきたことを伝えていただくというところに大きな意味がある。報告内容がリアルな日常業務における取り組みであるからこそ、参加する栄養経営士にとって身近に感じられ、自分たちの仕事とつながっていると実感できるのではないだろうか。

まだ結果が出ていないものであっても、その過程や取り組む姿勢が、全国から参加される栄養経営士にとって大いに刺激になり、参考になることだろう。

参加して終わりではなく、職場に帰った後に取り組んでみたくなる、実践してみようと思える内容の詰まった大会をぜひ実感していただきたい。

そしてそこで得られた経験をさらに多くの方にフィードバックしていただく。そのような動きを通して、栄養経営に関する学びが全国に広がっていくことを願っている。

大会の詳細および参加方法については、決定次第、当協会のホームページにて順次公開していくほか、会員向けメールマガジン等でも情報を提供していく。

PLAYBACK

第4回 全国栄養経営士のつどい

「地域包括ケア時代が求める栄養経営士の役割と活動」をテーマとした同大会の基調講演・特別講演では、地域・在宅の現場で実践活動をされている2名の医師に登壇いただいた。基調講演に登壇した八田内科医院理事長の八田浩氏は「“適塩活動”による重症化予防に向けた地域づくりと管理栄養士に期待される役割」をテーマに、減塩ではなく適塩の重要性を解説した。続く特別講演では西山医院理事長の西山順博氏が「在宅療養サポートチームのなかで求められる栄養部門の知識と役割」題し、在宅における管理栄養士への期待について強調した。

栄養経営士による実践報告では6名が登壇し、それぞれ自身の取り組みについて発表を行った。当協会監事の古畑公氏を審査委員長として4名の審査委員が審査。「栄養管理業務を患者ケア全般と地域へと繋げるために」と題し、課題を明確化して取り組み、治療成績や患者満足の向上を図ることで病院経営への貢献につなげた過程を報告した医療法人ベテールてんかん専門病院ベーテル栄養科の勝山祥子氏が最優秀賞を受賞した。

当協会理事吉田貞夫氏が座長を務めた多職種による特別ディスカッションでは、管理栄養士のほか看護師、作業療法士、薬剤師が地域包括ケアにおける連携について議論。カンファレンスの質の向上の重要性などについて意見が交わされた。

大会終了後に行われた懇親会では、登壇した講演者も参加。当協会の宮澤靖代表理事と栄養経営士が歓談する姿も見られ、幅広い情報交換が行われる場となった。

実践報告で登壇した6名の栄養経営士と審査委員

日本栄養経営実践協会 推薦図書

『国民の栄養白書2019年度版』発刊!

人生100年時代到来!「食べる力」「動く力」「暮らす力」を創る予防栄養の時代

編集委員代表：千葉大学予防医学センター
　社会予防医学研究部門 教授 近藤克則
企画・制作：ヘルスケア総合政策研究所

定価：4,400円（本体価格4,000円＋税）
会員価格：**3,520**円（税込）**2割引**
体裁：B5判　全176ページ
ISBN：978-4-86439-848-0

令和の栄養を支える新たな取り組みとは

社会保障費が年々増加し制度の存続が危ぶまれるなか、政府は治療・予防強化へと大きく舵を切ろうとしています。その潮流のなか、先駆的に動き出している栄養士をはじめとする専門職、自治体、教育機関、そして地域住民の取り組みをまとめた、予防栄養のイマが詰まった1冊です。

国として「予防」に力を入れるなか、栄養分野が取り組むべき課題を考える

2019年の『国民の栄養白書』のキーワードは「予防栄養」です。今年6月に閣議決定された「骨太方針2019」では、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現に向けた「健康寿命延伸プラン」の推進が宣言され、2040年までに健康寿命を男女ともに3年以上延伸し、75歳以上にすることが目的として掲げられています。

病気になってから、介護が必要になってから栄養管理をはじめるのではなく、そうならないように栄養管理をすることが全国民に課せられているのです。人生100年時代にふさわしい、疾病・介護を予防するために栄養分野ができることは何か。本書では「食べる力」「動く力」「暮らす力」という3つの視点から考え、提言していきます。

「食べる」「動く」「暮らす」の3つの視点から予防栄養の今を捉える

第一部の「食べる力」では、口腔機能を維持し、自分の口から食べることの重要性をさまざまな角度から解説。当協会の理事である医療法人ちゅうざん会ちゅうざん病院副院長・吉田貞夫氏も「食べるための腸の役割」について執筆されています。

第二部「動く力」では、自分の足で自分の行きたいところに行ける体づくりについて、臨床的な解説と実践事例を交えて掲載。栄養指導の際に知っておくと役立つ実践的な内容が詰まっています。

第三部は「暮らす力」。都市型介護予防モデルである「松戸プロジェクト」はじめ、さまざまな場所で実践されている高齢者が自活するための取り組みを取り上げています。

巻末には付録として、高齢者の低栄養・フレイル予防の視点を盛り込み5年ぶりに改訂される「日本人の食事摂取基準（2020年版）」を掲載しました。

管理栄養士にとって、入院・入所してきた方だけではなく、地域で暮らしている方が健康でいられるためのアプローチも重要な役割となります。そのための体制づくりなど、栄養経営士にとっても活躍の幅は広がります。その際の実践的な参考書として、ぜひ本書をご活用ください。

第１部　食べる力
自分の口で食べ、健康な体を維持する。最後のひと口まで自分の口でおいしく食べる。
第1章　高齢期歯科口腔保健の新たな視点:オーラルフレイル
第2章　多職種連携で行う食支援―最期まで口から食べられる街を目指して―
第3章　噛む力、飲み込む力を鍛える食事―口の機能を向上させるカムカム弁当のすすめ―
第4章　食べるための腸の役割―食べるために出す、出すために食べる―
第5章　赤ちゃん主導の離乳―Baby-led Weaningによる離乳食のすすめ―

第２部　動く力
自分の足でどこへでも行ける、いつまでも自分の行きたいところに行ける体を維持する。
第1章　高齢者の身体機能と食事の関連
第2章　簡単な運動で筋肉を鍛え高齢者の寝たきりを防ぐ―貯筋運動プロジェクト―
第3章　食事と運動でできる健康な骨づくり―コツコツ骨ラボ
第4章　運動における鉄の必要性

第３部　暮らす力
年を取っても自分の面倒を自分でみる、自活できる力を維持する。日常生活を送りながら、それを続けられる体をつくる。
第1章　都市型介護予防モデル　松戸プロジェクト
第2章　楽しみながら健康になれるショッピングモール―イオンモールのモールウォーキング―
第3章　「みのりカフェ」の高齢者向け食育活動―訪問看護ステーションが提供する共食の場―
第4章　人工知能を使った生活習慣病の予防医学

付録
食事摂取基準2020年版 概要
（「日本人の食事摂取基準（2020年版）」研修会 資料より）

管理栄養士・栄養士の必携手帳

栄養士ダイアリー 2020年版

●毎年好評の〔今月のキーポイント〕は急性期での臨床知識から在宅療養、看取りまでを網羅!
●2020年に開催される栄養サミットに向け、今だからこそ考えたい「日本の栄養」について、日本栄養士会会長中村丁次氏からのメッセージを掲載!
●「HACCPの義務化」について、食品衛生法の改正概要を収録!

掲載内容
1　今月のキーポイント
2　旬の食材&シーズンメニュー
3　食品等事業者が実施すべき管理運営基準に関する指針
4　大量調理施設衛生管理マニュアル
5　食品衛生法の改正について
6　臨床検査データ
7　クリニカルサービスの基礎用語解説・略語集　ほか
特別付録　『現場で役立つSGAとODA』（12ページ）

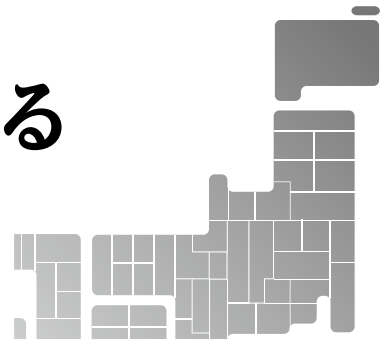
監修：『ヘルスケア・レストラン』栄養企画委員会
体裁：A5判　208ページ　付録冊子付
定価：2,200円（本体価格2,000円＋税）
会員価格：**1,760**円（税込）**2割引**
ISBN：978-4-86439-842-8

栄養経営士・栄養経営サポーターは会員価格でご購入いただけます。
ぜひ、部署や部門の皆さまでそろえてご活用ください!

協会本部NEWS

【宮澤靖代表理事講演】 セミナーレポート

「栄養サポートが患者を病院を地域を変える～管理栄養士に必要なマネジメント力～」JA新潟厚生連栄養士会秋季研修会



15病院7施設を有するJA新潟厚生連。全施設の栄養士で運営する栄養士会では年に2回、外部講師を招き、研修会を実施している。同研修会で宮澤代表理事が講師を務めた様子をお伝えする。

栄養経営士の想いが宮澤代表理事の講義を実現

今回の研修を企画したのは、JA新潟厚生連けいなん総合病院栄養科に所属する二人の栄養経営士、榎本裕介氏と菅野さとみ氏。講師の選定については新潟厚生連の施設が持ち回りで担当している。これまでもメーカーの方を講師に招き実践的な内容を講義してもらうなど、さまざまに工夫をこらした研修を行ってきたが、今回の内容を検討するにあたり、栄養経営士である二人で相談するなかで宮澤靖代表理事を呼ぶことができないかという話になったという。

「資格認定基礎講習で聞いた宮澤先生の話も大変刺激的でしたし、せっかく新潟厚生連の管理栄養士が集まる機会なので、病棟業務やマネジメントの重要性について宮澤先生に話してもらうことで、全体の意識改革にもつながるのではないかと思いました」(菅野氏)。

この熱意を受けた宮澤代表理事も快諾し、今回の研修における講義が実現。当日は22施設から40名を超える管理栄養士が集まり、宮澤代表理事の言葉に耳を傾けた。

長岡中央綜合病院講堂で行われたJA新潟厚生連栄養士会秋季研修会

業務の選択と集中を強調 診療報酬改定のトピックも解説

講義は給食業務と栄養管理はそれぞれ片手間にやるものではないという話からスタート。病棟での栄養管理が求められるようになってきた背景から、管理栄養士が病棟で患者に接することで生まれる価値の重要性を、具体的なデータを見せながら解説。「診療報酬は管理栄養士でなければできない仕事にしかつかない。その仕事は本当に管理栄養士がやらなければならないものなのか、きちんと考えることが大事」と管理栄養士の本来業務について改めて強調した。

講義のなかで宮澤代表理事は2020年度診療報酬改定についても言及。11月15日に開かれた中央社会保険医療協議会総会(会長=田辺国昭・東京大学大学院法学政治学研究科教授)における特定集中治療室管理料についての議論のなかで、「早期からの栄養管理」が取り上げられたことを紹介した。

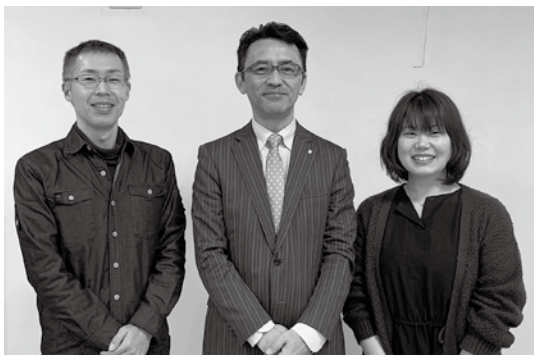
同総会の資料から「特定集中治療室等における管理栄養士の介入効果」に関するデータを提示しながら、「おそらく入院早期からの栄養管理に関しては、何らかの形で評価されるのではないか。このことをきっかけに急性期の栄養管理が大きく変わる可能性もある。私自身、これまで急性期の栄養管理に取り組んで30年になるが、非常に感慨深い」と歓迎の意を示した。

研修をきっかけとして 病院全体の変革につなげる

講義後の質疑応答では日常の業務について具体的なアドバイスを求める声も上がった。「栄養分野に関心を持ってくれない医師に対してはどのようにアプローチをすればよいか」という質問に対しては、「無理に関心を持ってもらおうとする必要はない」とし、「関心を持ってくれる医師と取り組み、栄養管理を通してしっかりと結果を出すことが大事。治療成績が上がるのを見れば他の医師も必ず関心を持ち、向こうから声を掛けてくる」と日々の業務を通して結果を出していくことの重要性を伝えた。

今回の研修について、「宮澤先生の圧倒的な熱量、最前線で戦っているお姿を肌で感じ、その思いを共有できたことが非常に嬉しく思いました」と話す榎本氏。「若手からベテランまで、いずれの年代においても『非常に考えさせられる内容であった』との感想が寄せられました。その後職員同士でも話し合い、各々の年代が果たすべき役割を認識し、その実現に向けて具体的なアクションを起こしていこうという話がまとまりました」とその成果を語ってくれた。

熱い気持ちを込めた宮澤代表理事の講演は、参加した管理栄養士の心にもしっかりと届いたのではないだろうか。JA新潟厚生連の管理栄養士の皆さんのさらなる活躍を期待したい。



今回の研修を企画した榎本裕介氏(左)と菅野さとみ氏(右)と宮澤靖代表理事(中央)

「栄養経営士」資格認定基礎講習DVD

資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

DVD視聴による受講が可能！
☆3枚組、特典映像付き☆

栄養経営士も会員価格で聴講できます！

〔こんな方におすすめ〕
・DVD受講だったので、会場受講をしてみたい
・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい　……

本編(収録時間／DISC 1：90分、DISC 2：73分)
1.院内・施設内における栄養部門の現状分析
2.目標設定能力と達成に向けた実践的アプローチ
3.業務の質を高めるためのアウトカム分析
4.「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
5.適材適所の組織マネジメント
6.病態の把握能力
特典映像(収録時間／約30分)
観てわかる！近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて
■講　師：宮澤　靖 代表理事ほか
■受講料：8,000円(税込)

【お問い合わせ・資料請求】　一般社団法人日本栄養経営実践協会　TEL03-5289-7021　くわしくは　栄養経営士　検索

栄養経営士が知っておきたい!

イベント情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

北海道支部

社会保障ゼミ【経営士合同ゼミ】

政府が進める安心につながる社会保障とはどのようなものなのか、給付負担増や給付の削減など社会保障の動向を確認して業界について学び、対策を考える勉強会です。

○日　程：2020年1月17日(金)　18:30～20:00
※全3回の3回目です
○講　師：神内秀之介 氏(N&B care and welfare management 代表、介護福祉経営士1級、スマート介護士(basic))
○参加費(税込)：【会員】2,000円　【一般】3,000円
○会　場：日本医療企画 北海道支社セミナールーム
(札幌市中央区南1条西6丁目15-1 札幌あおばビル201)
○定　員：20名(先着順)
○お問い合わせ：株式会社日本医療企画　北海道支社(担当:柴田)
TEL:011-223-5125

セミナー情報

実践！ 栄養管理講座SEASON4 コース3 基礎医学と栄養管理

当協会の宮澤靖代表理事が講師として登壇、管理栄養士として知っておきたい基礎医学の知識と栄養管理が学べます。

○日　程：C-1　2020年1月25日(土)　13:30～18:30
C-2　2020年1月26日(日)　9:30～16:00
○講　師：宮澤靖氏(東京医科大学病院 栄養管理科 科長/日本栄養経営実践協会 代表理事)
○参加費(税込)：【会員】各回6,000円　【一般】各回10,000円
○会　場：日本医療企画 ニッテン神田ビルセミナールーム(東京都千代田区神田東松下町17 ニッテン神田ビル3F)
○定　員：50名(先着順)
○お問い合わせ：株式会社日本医療企画(担当:平山)
TEL:03-3256-2885

協会事務局より

2019年12月期限の会員の皆さまへ
【年会費納入および資格更新のご案内】

本年12月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内を郵送しております。

早急にご確認およびお手続きのほど、よろしくお願い申し上げます。

○対 象 者：年度会費・会員資格の有効期限が「2019年12月19日」の「個人正会員」、「栄養経営サポーター」
○年度会費：【個人正会員】10,000円
【栄養経営サポーター】8,000円
○資格更新：【個人正会員】15,000円(年度会費込み)
※申請書類・課題をご提出ください。
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
○お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会
TEL:03-5289-7021

展示会情報

Care Show Japan

「介護」「医療」「予防・未病」「ヘルステック」に関連する7つの専門展で構成される複合型展示会。高齢者食・介護食の専門展として国内最大規模の「メディケアフーズ展」や、「介護産業展」「保険外サービス展」等が開催され、各種セミナーや講演が予定されています。

○日　程：2020年1月28日・29日(火・水)　10:00～17:00
○開催専門展：メディケアフーズ展、介護産業展、保険外サービス展、統合医療展、ヘルスケアIT、保険薬局支援展、未病産業展
○参加費：3,000円　※事前登録者は無料
○会　場：東京ビッグサイト 青海展示場(東京都江東区青海1丁目2番33号)
○お問い合わせ：UBMジャパン株式会社
TEL:03-5296-1020

摂食嚥下リハビリテーションと栄養ケア
栄養経営エキスパート別冊

『栄養経営エキスパート』創刊以来の掲載から
「摂食嚥下リハビリテーションと栄養ケア」にテーマを絞り集約!
高齢者向け栄養ケアの現場で必携の1冊です!

好評発売中!

掲載内容

第1部　摂食嚥下障害の病態と嚥下機能評
第2部　嚥下調整食の物性と評価
第3部　とろみとペーストの物性調整
第4部　各社製品を活用した嚥下調整食実践事例集
★17名の専門職による徹底解説!

監　　修：『ヘルスケア・レストラン』栄養企画委員会
体　　裁：A4判
ＩＳＢＮ：:978-4-86439-844-2
定　　価：本体価格2,000円+税
会員価格：**1,600**円+税

日本栄養経営実践協会推薦図書

★会員価格でのお申し込みは、日本栄養経営実践協会のwebサイトにある「推薦図書購入方法」をご確認の上、会員専用注文書をダウンロードして出力、必要事項をご記入のうえFAXでお送りください。
★このほかにも、栄養に関するさまざまな推薦図書がございます。詳しくは会員専用注文書をご覧ください。

日本栄養経営実践協会のサイトはこちらから!